

杏樹苑在宅介護支援センター

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

杏樹苑在宅介護支援センターは法人の理念と法人基本方針を念頭におき、利用者の生き方や価値観の尊重を基本にした支援を行ってまいります。

利用者が要介護状態になった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営む事ができるように配慮して支援を行います。

利用者の心身の状態や置かれている環境等に応じて利用者の選択に基づき、介護状態の軽減または悪化の防止に資するよう支援を行うとともに、適切に保険医療サービス及び福祉サービス等の連携に十分配慮しながら総合的かつ効率的に居宅介護の提供をおこなってまいります。

特定のサービス事業所に不当に偏らないよう公平・中立に業務を行ってまいります。

地域住民、医療機関、地域包括支援センター等からの信頼を高め、地域のネットワークの一端を担う事業所となるよう努めます。

【私たちが提供できる価値】

《主任介護支援専門員》

当事業所は現在主任介護支援専門員が1名ですが、積極的な研修参加、知識、経験を積み資格取得を目指し2名以上を確保できるように努めます。事業運営の安定を図り、業務を継続・維持できるようにいたします。

主任介護支援専門員は、介護支援専門員に課題を解決する手法や、重視するケアマネジメントの視点の助言や指導が出来るよう資質の向上に努めることや、人材を育成する使命があります。

また精神的負担が大きい職種であることから、介護支援専門員がストレスによる体調不良を引き起こさないよう定期的に話し合いや居宅内会議を行い、一人で抱え込まない様にサポートしてまいります。

社会情勢や地域の状況を反映した制度変化に対応すべく、地域ケア会議への参加、行政機関等においても情報共有を密にしてまいります。

《介護支援専門員》

令和6年度の介護報酬改定により一人当たり担当可能件数が増えています。生産性の向上のため、昨年度よりケアプランデータ連携システムを導入しておりますが、他サービス事業所の導入率が増えておらず、現状では数社とのやり取りのみとなっています。システムの普及・定着により、業務効率化、多職種連携強化、サービス品質向上に向け、日々尽力していく所存です。

自然災害による不安も頻発している中、利用者・家族の生活を守るため、いつ何時での相談にも迅速に対応できるよう、事業所内での情報共有を密に、時代の流れに即した適切な支援を提供してまいります。

【年度終了時の展望】

昨年度より生産性向上のためケアプランデータシステムを活用し、より一層業務の負担軽減・効率化を図っていくことが、今年度の課題となります。

事業を継続的に提供するために稼働率の向上及び適切なサービスの提供に努めます。感染症・災害発生時も関連機関との連携の下で継続的に必要な介護サービスが提供できるよう事業継続計画に基づき、研修、訓練を実施し日頃より準備してまいります。